

陳情処理状況報告書

- 陳 情 -

○教育警務委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨
7-1	6.6.4	未認識の犯罪 「集団ストー カー・テクノ ロジー犯罪」 の周知啓蒙と 誤解による2 次被害、3次 被害の根絶	東京都八王子市 暁町1丁目30番 9号サン・マリ ーナ310 特定非営利活動 法人 Targeted Individuals Japan 理事長 押越 清悦	<p>陳情の趣旨</p> <p>組織的嫌がらせ行為、集団ストーカー犯罪、電磁波等を悪用した電化製品と人への加害行為、これは完全否定できるものではなく、日本全国に被害報告があります。5W1Hの分からないものは、全く調査しないというのは、司法、行政の公務員として職務怠慢と言えますし、誤った指示を出す可能性、措置入院、強制入院等、第三者チェック機関や担当官の教育不足による誤認識から行政執行が行われる危険性があります。</p> <p>人権侵害、弱者救済の観点から各機関、各市区町村に間違いが起こらない徹底指導が必要です。</p> <p>陳情内容</p> <p>1. 組織的嫌がらせ行為、ガスライティング手法、集団ストーカー犯罪、エレクトロニックハラスメントという犯罪を、被害者を中心に聞き取り調査をし、有識者（被害者団体）から現状を把握し、警察、保健所、人権擁護委員会、精神病院、行政の精神医療審査委員会、それに係る司法機関、弁護士に情報調査報告を周知徹底する。</p> <p>2. 現在の科学技術の進歩により行われる可能性のある新たな犯罪行為又は現在の犯罪との併用使用に対する予測準備期間が必要である。まず海外の規制の変化調査、犯罪、訴訟履歴を参考に、国内の電波に係る規制の見直し、実際の電磁波過敏症、電磁波攻撃を受けている人から被害報告を聞き取り、調整し、関連行政、企業、国家機関への調査報告、改正が必要なものには法改正を要求する。</p>

※陳情内容3については、厚生環境委員会に付託。

- . - . - 陳 情 - . - . -

○教育警務委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨
8	6. 6. 19	県内どこに住んでいても、学習の機会が保障されるよう、来年度の県立高校募集定員を減らさないことを求める陳情	富山市千歳町 1-2-3 富山県高等学校 教職員組合 執行委員長 中山 洋一	<p>陳情の趣旨</p> <p>県教育委員会は県立高校全日制の募集定員について、今年度82名の減を学級減ではなく、普通科を含む6校（入善、魚津工業、中央農業、小杉、伏木、砺波工業）の学級定員の減で対応しました。教員配置の充実を求めた私たちの請願が12月の県議会において全会一致で採択されたことが力強い後押しになり、教員定数について法定数の減少を補う6名分が県単独措置されました。また、12月の県議会では、「①国の責任で小学校、中学校及び高等学校の全学年で少人数学級をさらに前進させること。②少人数学級実現のため、義務標準法・高校標準法を改正して教職員定数改善計画を立てること。③高校再編の当該校に加配による教員定数確保を行うこと。」を求める意見書が採択されました。国の教育政策が一層充実するよう、様々な方面からの働きかけを続けるとともに、当面、県の努力で子どもたちに豊かな教育条件を保障していく施策が必要となっています。</p> <p>今年度末の中学校卒業予定者数は、前年度比115名減の8,510名です。その内訳は、新川学区が、1,644名（前年度比82名増）、富山学区が3,513名（66名減）、高岡学区が2,409名（25名減）、砺波学区が944名（106名減）です。県立高校全日制の募集率70.8%をこれに掛ければ、来年度募集定員の目安は、新川1,164名、富山2,487名、高岡1,706名、砺波668名となり、現高校1年生と募集定員増減の目安は、新川59名増、富山49名減、高岡19名減、砺波72名減の全体で81名減となります。この生徒数の減少に対して、県内どこに住んでいても、学習の機会が保障されるよう、来年度の県立高校募集定員をできる限り減らさない対応が必要です。今年度踏み出した少人数学級の歩みを着実に進めていただきたく、下記の事項を陳情します。</p>

- . - . - 陳 情 - . - . -

受理 番号	受 理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨
				<p>陳情の項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県内どこに住んでいても学習の機会が保障されるようにするため、公私比率を柔軟に運用し、来年度の県立高校募集定員を減らさないこと。特に、学区内に私立高校がない砺波学区に配慮すること。 2. 募集定員をやむを得ず減らす場合は、学級減ではなく学級定員減で対応すること。 3. 昨年度拡充した普通科を含む少人数学級、従来実施している少人数学級を後退させないこと。 4. 南砺平高校の生徒全国募集を行う場合は、県内生徒の学習権を保障するため、全国募集の定員を別枠にすること。

- . . . - 陳 情 - . . . -

○厚生環境委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨
7-2	6.6.4	未認識の犯罪 「集団ストー カー・テクノ ロジー犯罪」 の周知啓蒙と 誤解による2 次被害、3次 被害の根絶	東京都八王子市 暁町1丁目30番 9号サン・マリ ーナ310 特定非営利活動 法人 Targeted Individuals Japan 理事長 押越 清悦	<p>陳情の趣旨</p> <p>組織的嫌がらせ行為、集団ストーカー犯罪、電磁波等を悪用した電化製品と人への加害行為、これは完全否定できるものではなく、日本全国に被害報告があります。5W1Hの分からないものは、全く調査しないというのは、司法、行政の公務員として職務怠慢と言えますし、誤った指示を出す可能性、措置入院、強制入院等、第三者チェック機関や担当官の教育不足による誤認識から行政執行が行われる危険性があります。</p> <p>人権侵害、弱者救済の観点から各機関、各市区町村に間違いが起こらない徹底指導が必要です。</p> <p>陳情内容</p> <p>3. 警察の23条通報における公務員の過失行為防止のため、家族、親族、友人6名以上の事情聴取、そして保健所長を経て都道府県知事への報告の第三者チェック機能を入れる。そして精神科医の再教育、さらに精神科院内でのこれまでの実態調査及び海外の精神医療に関するデータとの比較、WHO精神保健ケア法：基本10原則をなぜ取り入れないのか、調査し、即時実行する。</p>

※陳情内容1、2については、教育警務委員会に付託。

- . - . - 陳 情 - . - . -

○県土整備農林水産委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨
5	6. 3. 13	陳情書	氷見市 個人	<p>陳情の趣旨</p> <p>自宅の井戸は、昭和57年の改築時に掘削整備し、その後井戸水の汚染に困ることなく使用しておりましたが、平成19年ごろに自宅北側の泉川改修工事が始まったころから、砂やゴミが混ざり始め、今日に至っております。</p> <p>昭和57年の井戸掘削時の泉川は、隣接する氷見市立西條中学校のグラウンド下の暗渠水路となっておりましたが、新設された泉川と井戸との距離は僅か7～8メートルであり、また井戸の深さも泉川の川底とほぼ同程度の8～10メートルであることから、河川の流れの状況によって、井戸水の汚染状況も変化している状況でありますので、改善願えればという思いで請願に至りました。</p> <p>この度の大地震では、こんな井戸にも沢山の人が助けられました。是非配慮いただきたくお願い申し上げます。</p> <p>加えて、遅々として進まない本事案に対する行政の対応についても、改善していただきたく、お願い申し上げます。</p>

- . . . - 陳 情 - . . . -

○議会運営委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨
6	6.5.28	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	東京都北区 個人	<p>陳情の要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脱退一時金の運用において、日本人と外国人の被用者間で退職時の不公平が生じている。 2. 生活保護予備群を無尽蔵に生み出す制度運用であり、地方財政上の問題がある。 3. 72万件もの外国人の年金制度脱退を裁定するも、国側はその動向を把握していない。 4. 厚生労働大臣が国会で答弁した今、調査および改善の要望を地方から挙げていただきたい。 <p>陳情の理由</p> <p>昭和の時代からの制度と国際法の狭間で、様々な省庁が人道主義や特例対応を許した結果、本来の立法主旨からかけ離れた制度運用となり、日本人と外国人がいがみ合うような不公平が生じている。国の制度の問題であり地方行政では対応ができません。大部分が法定受託事務であることに鑑み、現場となる地方から財政問題として声を上げる必要があるため、調査および改善を求める意見書の採択を陳情する。</p>